

12月11日(火)～20日(木)

# 年末の交通安全運動を実施します！

市民課生活相談係  
☎43-7044

今年、市内では10月末現在で172件の交通事故が発生し、1人が死亡、208人のけが人が出ています。

交通事故による死者数は、昨年と同じ時期と比べると5人減少していますが、交通事故の件数とけが人の数は増加しています。

これから年末にかけては、積雪や凍結などによる道路環境の悪化に加えて、忘年会などで飲酒する機会が増えてきます。

交通事故を起こさずに、安全・安心な年末年始を過ごしましょう。

## 運動の重点

- 飲酒運転の根絶
- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 冬道の安全運転の推進
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の徹底
- 踏切事故の防止



### 飲酒運転の根絶

12月は「飲酒運転追放県民運動強調月間」です。飲酒運転は重大な交通事故につながる極めて悪質で危険な犯罪です。飲酒運転に「つい」「うっかり」「ちょっとそこまで」ということは絶対にあり得ません。

自動車で飲食店などに行き飲酒する場合は、ハンドルキーパーを決めておくか代行業者を利用しましょう。

### ドライバーは

- 運転前は、絶対に飲酒しない
- 飲酒したら、絶対に車を運転しない
- 家庭・職場・地域では
- 運転する人には、飲酒させない
- 飲酒した人には、絶対に運転させない

### 子どもと高齢者の交通事故防止

道路を通行するのは自動車だけではなくありません。子どもからお年寄りまで様々な年代の歩行者や自転車等も通行します。歩行者や自転車利用者の中には、横断歩道が無いところで道路を渡ったり、信号を無視したりするなど、ルールを守らない人もいます。また、住宅街や学校・公園・公共施設の近くなどでは、子どもや自転車が飛び出すことがありますので、住宅街などではスピードを落とし、歩行者や自転車に十分に注意しましょう。

### ドライバーは

- ライトを早めに点灯し、原則上向きでこまめに切り替えて走行しましょう
- 特に夜間は、道路の右方向からの歩行者に注意しましょう
- 子どもや高齢者のそばを通過するとき、徐行を心掛け、やさしい運転をしましょう

### 歩行者は

- 反射材を活用し、目立つ色の服装で外出しましょう
- 信号無視や、横断歩道が無いところでの横断はしないようにしましょう
- 左右の確認をしてから横断するなど、交通ルールを守りましょう

高齢の歩行者や自転車、自動車運転者の事故が増えていきます。個人差はありますが、年齢とともに身体的機能は低下し、横断時の判断を誤ることがあります。若い頃とは違うという意識を持って、交通安全を心掛けましょう。

### 冬道の安全運転

降雪時や気温の低い朝は、普段より早めに行動し、時間に余裕を持った運転をしましょう。ブラックアイスバーン（一見路面が濡れているように見えて、実は凍結している状態）は大変滑りやすく、非常に危険です。

また、日陰や橋の上などは特に凍結しやすく溶けにくいので、十分に減速して、スピードを抑えた運転をしましょう。



### 冬道の安全運転3則

- ① スピードは、夏場より10km以上減速する
- ② 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする
- ③ 急加速、急ブレーキ、急ハンドルの急激な操作をしない
- ④ 視界不良のときは、前方を注視しながら早めに徐行する
- ⑤ 無理な追い越しはしない

### 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の徹底

自動車が衝突すると、体には急激な負荷がかかります。シートベルトをしていないと、自動車の内部（ハンドルやフロントガラス）へ衝突したり、体が車外に投げ出されてしまう危険があります。シートベルトは大切な命を守ります。全ての座席でシートベルトを着用し、チャイルドシートは体格にあったものを使用しましょう。

『すぐそこだから、ベルトはいらない』ではなく、車に乗ったら必ずシートベルトを締めましょう。

### 踏切事故の防止

踏切では、次の点に気を付けて運転し、無理な横断は絶対にしないでください。

- ・踏切に接近する時は、あらかじめ減速する。
- ・踏切の手前では必ず一時停止し、目と耳で安全を確認する。
- ・渋滞している時などは、警報機が鳴っていないなくても踏切に進入しない。